

指定管理施設の管理運営状況にかかる評価表

【 令和6年度分 】

施設名	手引ヶ丘公園（風の子楽習館）	施設所管課	市民活動支援課
指定管理者	特定非営利活動法人 風の子たき	指定管理 期間	令和3年04月01日 から 令和8年03月31日 まで

1. 総合評価

市	【優れていると評価した点】 ・自然エネルギーや環境学習、野外体験等の場として、市民に広く受け入れられている。 ・市外からのリピーターもいる等、心温まる来客対応がなされている。
	【改善すべき点】 施設の老朽化に伴う修繕経費の増は、必要に応じて、市としても対応を検討する。
指定 管理 者	【優れていると評価した点】 アンケート等から見ると、入館者や体験者から子供たちが楽しく学び遊べる施設として好評をいただいている。
	【改善すべき点】 施設設備、体験装置等に老朽化したものが増えてきている。 リピーターを増やすため、体験メニューや体験装置・備品等に飽きられない工夫を重ねていくことが必要である。

2. 施設利用について

総 括	春・秋の手引ヶ丘公園祭り等のイベントは、天候に左右されるものの、例年多くの来館があり、今後も継続が望まれる。令和6年度についてはコロナ禍も終息し、春の公園まつり・秋の公園まつりはともに開催することができ、多くの方に来場いただけた。
--------	---

(1) 収支状況の推移（自主事業を含む）

（単位：千円）

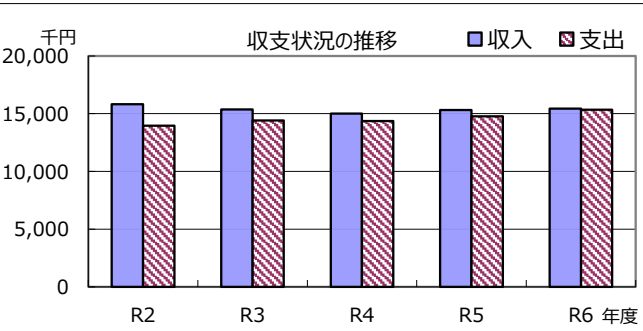
施設 の 収 支	項目	R2	R3	R4	R5	R6
	収入	15,820	15,360	15,010	15,312	15,450
	うち指定管理料	15,815	15,360	15,010	15,312	15,450
	うち利用料	0	0	0	0	0
	その他	5	0	0	0	0
	支出	13,958	14,423	14,356	14,774	15,334
	差引	1,862	937	654	538	116

<上記以外の市の収入、支出>

（単位：千円）

市 の 収 支	項目	R2	R3	R4	R5	R6
	収入（使用料）	50	50	50	50	50
	支出	22	22	576	1,251	475
	うち修繕費	0	0	495	805	407

※大規模修繕を除く



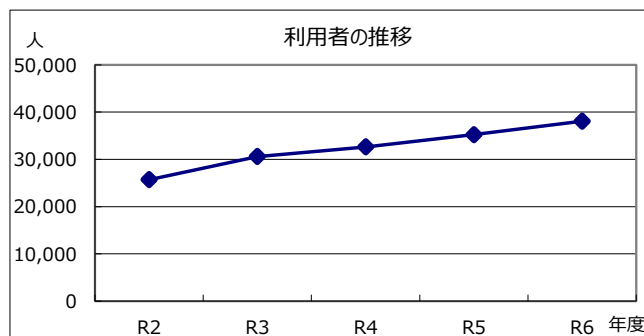
収入増・コスト削減に関する取組

・施設の環境整備等可能な限り職員で対応し、外部委託経費を抑え、コスト削減に努め、長期的な視点での維持管理経費の削減を図った。
 ・電気料金や物価上昇等の影響があったが、こまめな節電や節水に取り組み、職員でできることは積極的に行って経費の節約に努めた。

(2) 利用者の推移

(単位：人)

利用 者	R2	R3	R4	R5	R6
	25,697	30,610	32,637	35,222	38,085



利用者の増に向けた取組・利用の動向

- ・指定管理者は、毎月、市内小学校等にチラシを配布する等PRに努めている。また、ホームページでタイムリーな情報提供や新聞掲載、ラジオでのPR、パンフレットの近隣類似施設等への配置等、効果的なPRに努めている。
- ・映像再生システム「風の樹劇場」等来館者目線の取組がなされている。

(3) 利用者アンケート

アンケートの実施状況

- ・年間を通して館内で実施している自由記載形式のもの他、イベントごとに5段階(数字が大きい方が良い)のアンケートを実施している。
- ・イベントのアンケートによる評価の平均は4.90点(令和5年度4.93点)となっており、多くの来館者に評価されている。

回答数	職員の対応・マナー・説明、施設管理・サービス	主な意見(問題点)・対応(効果)
79 件	①非常に良い	77 件 97.5 %
	②良い	件 0.0 %
	③ふつう	2 件 2.5 %
	④悪い	件 0.0 %
	⑤非常に悪い	件 0.0 %
		【意見】自然と触れ合うイベントを増やしてほしい。 【対応】新しい企画に取り組んだ。 ・本当に熱心にサポートや色々なお話を聞かせて頂き、とても充実した時間を過ごすことができた。

(4) 住民サービス向上の取組・事例

- ・利用者アンケートを館内及びイベントごとに実施し、利用者ニーズに柔軟に対応している。
- ・ボランティアをサポートスタッフとして招き入れる等、地域の人材育成の場となっている。

3. 自主事業について

総 括	・自主事業ではないが、市が指定管理業務とは別に委託している風の子楽習館生涯学習講座の実施状況は良好であり、来館者の満足度向上につながっている。
実 施 状 況	・なし

4. 施設の維持管理・安全対策について

- ・設備等の保守点検を計画通り実施し、安定した施設運営ができている。
- ・施設の老朽化により、各設備で更新時期が来ているものや不具合が生じているものがあるが、適宜修繕を行っている。
- ・危機管理マニュアルを作成し、年2回の避難訓練を実施している。その際に職員の周知徹底を図っている。

5. 職員(従業員等)の接遇・研修について

- ・イベントごとの事前打ち合わせにおいて接遇の仕方について確認を行い、来館者に挨拶や親切丁寧な対応ができるよう指導を職員・サポートスタッフが行えるよう徹底して指導している。特別公募体験や館内設置のアンケートによると、体験参加者や入館者からの評価も非常に良い。